Zennoh-akita agriculture+reform
# Za・あぐりふぉーむ
2025.11.6
Vol.69
バックナンバーはコチラ←

## 営農支援情報

### たまねぎの産地化けん引で地域農業振興に意欲的に取り組む若手リーダー
### ～埴生雄大氏（ＪＡ大潟村）

埴生雄大氏（大潟村圃場にて）

埴生雄大（はにゅう・たかひろ）氏は大学卒業後、秋田県の未来農業のフロンティア育成研修で２年間水稲の技術を学んでから就農し今年で１２年目となります。このうち８年目となる「たまねぎ栽培」では、現在大潟村たまねぎ生産組合の顧問を務める父親の望さんと共にたまねぎ栽培を行う農家の中心となって活動をしています。また、地域貢献や農業振興の発展のためにＪＡ大潟村青年部の副部長も務めています。

**（１）たまねぎ栽培を始めたきっかけ**

埴生氏が就農した当初は、１０ａのにんにく栽培をしていましたが、当時はたまねぎが全国的に不足しており、にんにくを出荷していた地元スーパーのバイヤーに栽培を勧められてたまねぎ栽培を始めました。たまねぎの作期はにんにくとほとんど一緒で取り組みやすく、村内で先行し栽培をしている生産者から技術指導を受けることができ、栽培を始める後押しとなりました。

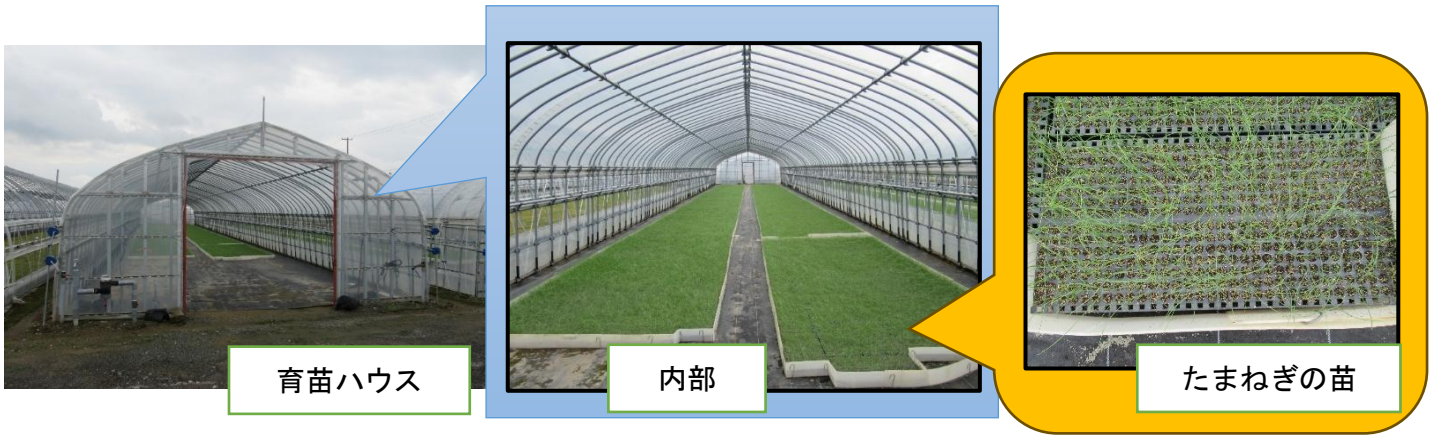
埴生氏は開始１年目でたまねぎを５トン収穫できたことで大潟村でも栽培ができると確信し、２年目で２０ａ、３年目１ｈａ（水稲圃場にて）、４年目2.5ｈａ（７月の小麦収穫圃場後）と拡大し現在に至ります。たまねぎ栽培の大規模生産に取り組むにあたり、ＪＡ大潟村が主体となった「産地パワーアップ事業」の補助金を活用し、移植・収穫用機械（移植機、ブームスプレイヤー、剪葉機、茎葉処理機、掘取り機、根切り機、拾い上げ機、運搬車）を導入しました。

**（２）栽培におけるこだわりや強み、地域とのつながりについて**

■栽培の年間スケジュール

連作障害の回避・病害虫抑制として、たまねぎ・小麦・大豆圃場を２～３年でローテーションを組んでいます。たまねぎは８月末から９月初めに育苗ハウス内でＪＡよりレンタルした播種機を使い、専用の苗箱で約５５日間育苗します。その後、１０月中旬頃に移植機を使って苗を植え、翌年６月末から７月初めに収穫します。

埴生氏は適期の作業（移植、追肥、収穫など）と日々の観察による病害虫駆除の徹底に心掛けています。たまねぎの育苗・移植・追肥・防除・収穫などは水稲作業と重ならず、その合間に稲刈り等を行うことができます。また、たまねぎは越冬作物なので積雪期間中は手がかかりません。




■たまねぎの乾燥・調整と出荷

以前、たまねぎ収穫後の乾燥は、収穫用野菜コンテナに入れたままの状態で簡易的に格納庫で行っていましたが、現在では２０１９年に完成したＪＡ大潟村たまねぎ乾燥調製貯蔵施設にて乾燥・調製を行っています。移植・収穫時には、パート及び県立大学生を雇いながら作業を行っています。

収穫量は４～５ｔ／１０ａを目標に、大潟村の土壌条件を有効に活用することを心がけています。特に品質管理には気を使いながら、Ｌ玉中心の栽培を行っています。販売は加工用としてＪＡに出荷しており、他にも個人で直売所等へ出荷しています。

■たまねぎの定植作業（令和７年１０月撮影）

### （３）経営の概要（経営品目、面積、施設、機械設備など）

■経営品目・栽培面積

・たまねぎ：２.５ｈａ（ターザン２ｈａ、もみじ３号０.５ｈａ）

・水稲：２９ｈａ（もち加工用米：たつこもち、ときめきもち）

・小麦、大豆：５ｈａ（２年３作）

■主な施設や機械等

・育苗ハウス１０棟（内、たまねぎ苗で２棟使用）

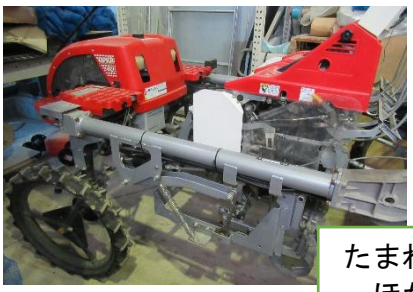
・籾摺り機、色彩選別機、乾燥機

・移植機、茎葉処理機、剪葉機、掘取り機、根切り機、
　拾い上げ機、運搬車

・田植え機２台、コンバイン２台、ドローン（Ｔ－２５）、トラクター４台、ブームスプレイヤー

倉庫外観

籾摺り機



たまねぎ収穫機
ほか農機具

### （４）今後の抱負

　埴生氏はたまねぎ栽培に関して、生産組合組織活動を中心に地域の仲間と情報共有を行い、切磋琢磨しながら栽培技術の向上に今後も取り組んでいきたいと思っています。

　また雑草の管理や最近の異常気象への対策を行い、たまねぎのほか水稲や小麦等の品質・収量のレベルアップを図ることで、日々努力と挑戦を積み重ねていきます。

JA全農あきた公式
ホームページはコチラ！

公式インスタ
秋田の農業応援団！

JA_ZENNOH_AKITA

美人を育てる
秋田米✨

BIJINAKITAMAI

営農支援部 営農支援課　☎018-880-1011

Zennoh-akita agriculture+reform
Za・あぐりふぉーむ
ＪＡ全農あきた営農情報誌 Ｚａ・あぐりふぉーむ
第69号　令和7年11月6日発行
編集・発行 ＪＡ全農あきた営農支援部営農支援課 〒011-0901秋田市寺内字大小路207-24 018-880-1011